



アフリカ・ジブチでの活動を終えて

青年海外協力隊の一員としてアフリカのジブチ共和国に派遣されていた水口町出身の秀熊ともよさんが2年間の活動を終えて帰国し、11月8日、市長に活動の報告を行いました。

秀熊さんは、厳しい自然環境のため農業が未発達な同国で、農作物栽培の定着にむけ野菜の試験栽培に取り組みました。土壌改良のほか、日本から持参した種子を現地で育て、トマトやオクラなど夏野菜の収穫に成功する一方で、実った野菜も土壌の問題のため半分以上は病気がかかってしまったそうです。

写真を見せながら現地での体験や農業の現状、課題などを伝え、市長は「この体験を多くの人に伝え、将来に生かしてほしい」と、今後土壌と地球環境について学ぶため大学院に進学される秀熊さんを励ました。

青年海外協力隊 秀熊ともよさん



▲中嶋市長に現地での活動を説明する秀熊さん

子どもたちの体力向上をめざして

親子元気アップ事業



▲楽しく実習する参加者

文部科学省が取り組む子ども体力向上推進事業（親子元気アップ事業）が11月10日、土山小学校で行われました。

近年、子どもたちの体力・運動能力が低下していることから、家庭でも関心を持って改善していく役割を担ってもらうことを目的に行われています。

当日は、土山小学校の1・2年生を対象に38組の親子が参加しました。

滋賀県レクリエーション協会職員から、親子が一緒に楽しめる運動プログラムが紹介された後、子どもたちはニュースポーツやゲームで楽しく汗を流しました。また、保護者らは子どもの体力や運動が不足することで、成長段階にさまざまな問題が出てくることなどを教わり、家庭での関わり方の講座を熱心に受けていました。

「NHKなわとびかつとび王選手権 2012」決勝大会にむけ猛特訓

小学生のチームが長なわとびを8の字を描きながらかつとび抜け、1分間でとび抜けた人数を競うNHK主催「なわとびかつとび王選手権」に、小原小学校6年生19名が挑戦しています。

同チームは、一学期から毎日朝、業間、お昼休みに全員が練習を重ね、全国各地から応募がある中、ビデオ審査での2回の予選を勝ち抜いて決勝出場を決めました。決勝では、6チームが優勝を争います。決勝直前には、1分間に125回のテンポで次々ととび抜け、児童は、「悔いが残らないようきちんと練習して臨みたい」と意気込みを話していました。

なお、決勝の様子は、12月31日の午前9時15分からNHKのEテレで放送される予定です。



▲3人1組で次々ととび抜け8の字を描く

平和を願い 85年の歳月を見守る

ミュージカル「青い目の人形～甲南のメリーさん～」

甲南第二小学校に現存している青い目の人形のメリーさんを題材にした創作ミュージカルが12月1日、2日の2日間、忍の里プララで上演されました。

メリーさんは、85年前に日米親善の架け橋としてアメリカから贈られた人形で、県内に現存する4体のうちの一つです。

市内に伝わる文化資源や歴史を題材に創作ミュージカルを制作するNPO法人「甲賀文化輝き」が行うミュージカルの第5弾となり、市内を中心とした3歳から78歳の40名が出演しました。

命の尊さと平和への願いをテーマに描かれ、心に響く歌声に満席の会場からは惜しみない拍手が送られました。



▶感動のフィナーレ

もちをぐお腹いっぱい 楽しんで

甲賀もちふる里まつりが11月18日、鹿深夢の森を会場に開催され、多くの方で賑わいました。

このまつりは、小佐治地区特産のもち米を広くPRしようと甲賀もち工房と地元でつくる実行委員会が毎年開いているものです。

会場では、米粉商品やつくたてのもちが味わえるほか、小佐治すいりょう太鼓による「もちつき太鼓」の演奏や、もちまきなど様々なイベントが行われました。

また、米俵を2分間で運んだ距離を競う「もち俵力自慢」では、重さに耐えられず倒れこんだり、新記録に近づいたりする挑戦者に大きな声援が送られていました。

第43回甲賀湖南交通安全誓いの集い



▲表彰を受ける交通安全功労者の皆さん

交通安全誓いの集い 交通ルールのマナー向上と交通安全意識の高揚を目的に、甲賀湖南交通安全誓いの集いが11月18日、あいの土山文化ホールで開催されました。

この集いは、甲賀湖南交通安全協会などが主催で毎年行われているもので、交通事故の根絶を願う約400名が参加しました。

当日は、交通安全に対して功績のある方や優良運転者への表彰が行われました。また、大会宣言が読み上げられ、関係機関や団体と連携し、市民総ぐるみでの交通安全への取り組みを誓いました。

第15回 甲賀もちふる里まつり



▲20キロの米俵で力を競う小学生